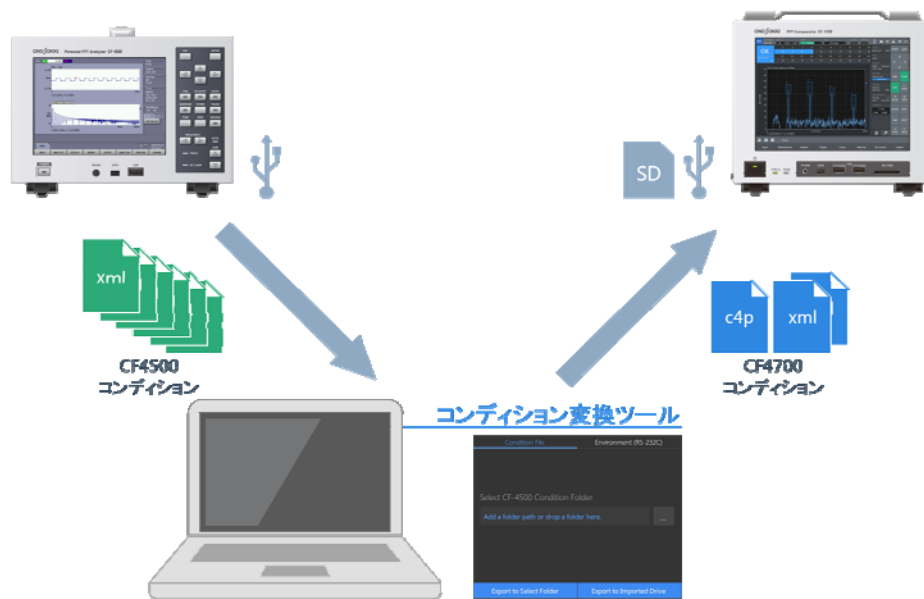


CF-4700 FFT コンパレータ コンディション変換ツール

本アプリケーションは、CF-4500 のコンディションファイルを CF-4700 のコンディションファイルに変換します。CF-4500 からのコンディションファイルのエクスポートは USB メモリを用いて、CF-4700 へのインポートは USB メモリもしくは SD カードを用いて行ってください。



1. 本アプリケーションについて

1.1. 免責事項

本アプリケーションは、CF-4700 をお使いのお客様に無償で提供されます。下記、免責事項をご確認の上、ご利用ください。

免責事項

無償アプリケーションと特定の機器の間で生ずる不具合（一般に相性と呼ばれるもの）等による動作の不具合についても、弊社ではサポートいたしかねます。
また、不具合により、お客様に生じた損害、不利益等に関して、弊社は一切の責任を負いません。予めご承知おきの上、ご利用ください。

1.2. 動作環境

本アプリケーションの実行には、Windows 7 SP1 以降が必要です。

また、Microsoft .NET 3.5 が必要です。

動作確認は Windows 7（32/64bit）で行っています。

1.3. 起動と終了

本アプリケーションは、インストール不要です。

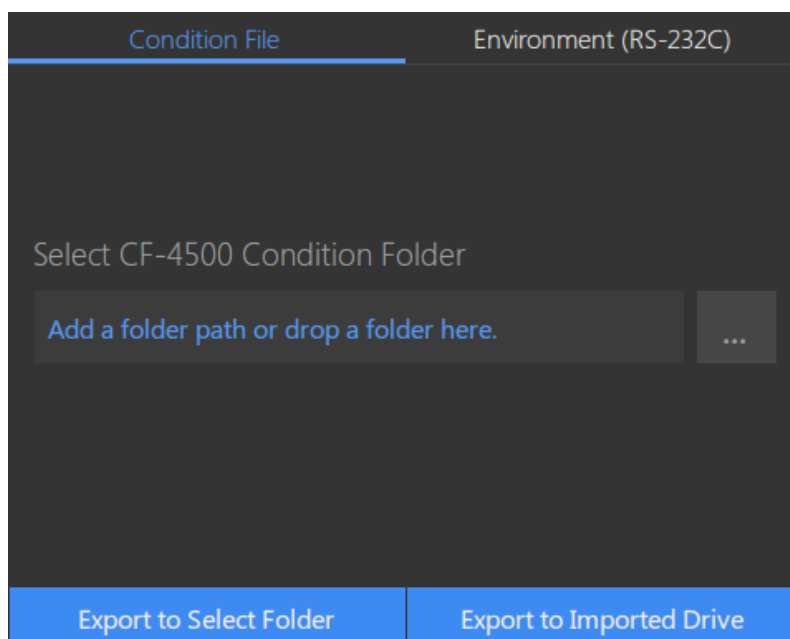
このドキュメントと同梱されている「CF4700ConditionConverter.exe」を実行することでアプリケーションが起動します。

アプリケーションを削除する際は「CF4700ConditionConverter.exe」を削除するだけで、アンインストール等の必要はありません。

2. 操作説明

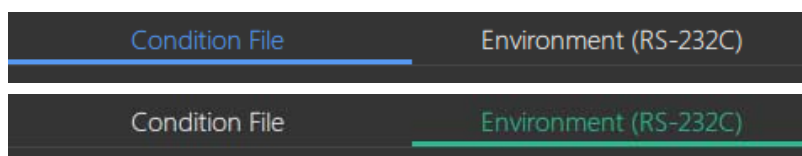
2.1. アプリケーションの起動

「CF4700ConditionConverter.exe」を実行することでアプリケーションが起動し、以下の画面が表示されます。



2.2. モードの切り替え

画面上部のタブをクリックすることでモードを切り替えます。
モードは2つあります。



[Condition File](#)

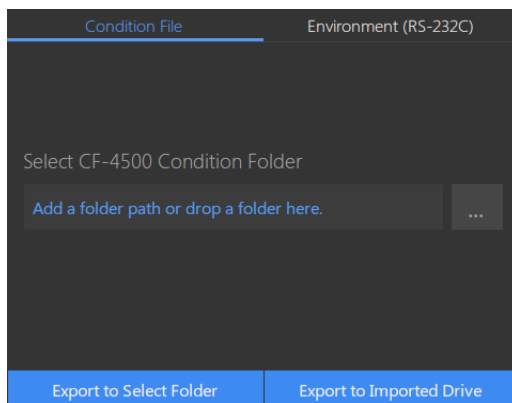
[Environment \(RS-232C\)](#)

CF-4500 のコンディションファイルを CF-4700 のコンディションファイルに変換します。
CF-4500 のコンディションファイルには含まれていない RS-232C の設定を CF-4700 に展開するためのファイルを

生成します。

2.3. Condition File モード

CF-4500 のコンディションファイルを CF-4700 のコンディションファイルへ変換します。



CF-4500 コンディションファイル

CF-4500 の 1 つのコンディションは以下の 6 つのファイルから構成されています。コンディション変換の際は以下の全てのファイルが必要になります。

CF-4500 からコンディションファイルを USB メモリに保存する方法は CF-4500 の取扱説明書を参照して下さい。

※ NNN: コンディション No.

| ファイル名 | 説明 |
|-------------------------|-------------|
| pnlMemLayoutNNN.xml | グラフィックアウト関連 |
| pnlMemCalcNNN.xml | グラフィックアウト関連 |
| pnlMemMeasureNNN.xml | 計測設定関連 |
| pnlMemInfoNNN.xml | ラベル関連 |
| pnlMemComparatorNNN.xml | コンパレータ設定関連 |
| pnlMemRelayNNN.xml | 接点入出力設定関連 |

CF-4700 コンディションファイル

CF-4700 の 1 つのコンディションは以下の 3 つのファイルから構成されています。

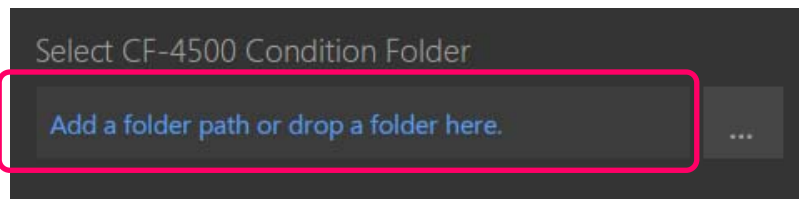
※ NNN: コンディション No.

| ファイル名 | 説明 |
|-----------------------|------------------|
| NNN_ConditionFile.c4p | グラフィックアウト、計測設定関連 |
| NNN_CompareFile.xml | コンパレータ設定関連 |
| NNN_RelayFile.xml | 接点入出力設定関連 |

◆ CF-4500 コンディションフォルダの指定

CF-4500 のコンディションファイルを変換するために、CF-4500 のコンディションが入っているフォルダを指定します。コンディション変換は指定したフォルダ直下の CF-4500 のコンディションファイルを一括で CF4700 のコンディションファイルに変換します。

下図の線で囲われている箇所に直接フォルダパスを入力するか、エクスプローラより直接フォルダをドラッグ&ドロップしてください。また、線で囲われている箇所の右側のボタンからダイアログを開きフォルダを指定することも可能です。



◆ CF-4700 コンディションファイルのエクスポート

フォーム下部の Export ボタンより CF-4500 のコンディションファイルの変換処理を実行し、CF-4700 のコンディションファイルとしてエクスポートします。



[Export to Select Folder](#)

フォルダ選択ダイアログよりフォルダを選択し、エクスポートします。

[Export to Imported Drive](#)

CF-4500 のコンディションフォルダとして指定したドライブ以下に「Onosokki CF-4700¥CF-4700¥Panel」というフォルダ構成を作成し、エクスポートします。

CF-4700 は USB メモリや SD カード直下の

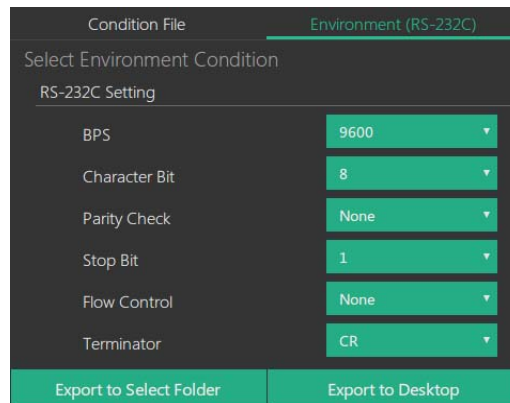
「Onosokki CF-4700¥CF-4700¥Panel」

というフォルダに入っているコンディションファイルをコンディションとして認識します。USB メモリで取りだしたファイルを直接変換する場合は、「Export to Imported Drive」ボタンの方が指定のフォルダにコピーする必要がないため便利です。

CF-4700 の USB メモリや SD カードからのコンディションの読み出しは、CF-4700 の取扱説明書を参照して下さい。

2.4. Environment モード

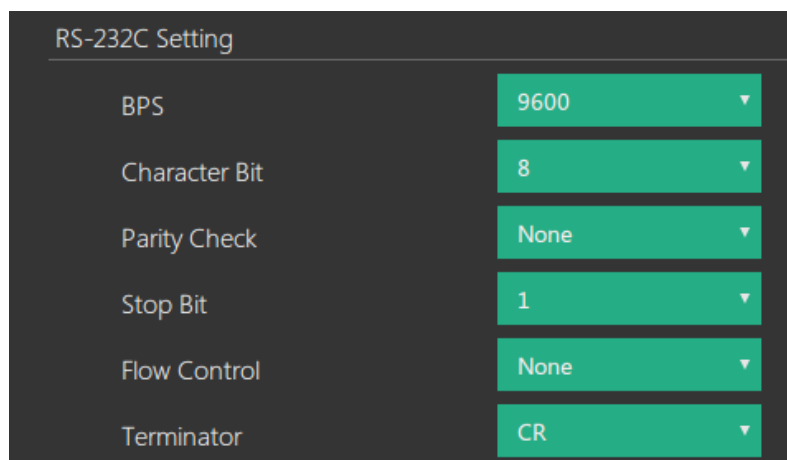
CF-4500 のコンディションファイルには含まれていない環境設定である RS-232C の設定を CF-4700 に移行するためのファイルを生成します。



| Condition File | | Environment (RS-232C) |
|------------------------------|------|-----------------------|
| Select Environment Condition | | |
| RS-232C Setting | | |
| BPS | 9600 | ▼ |
| Character Bit | 8 | ▼ |
| Parity Check | None | ▼ |
| Stop Bit | 1 | ▼ |
| Flow Control | None | ▼ |
| Terminator | CR | ▼ |
| Export to Select Folder | | Export to Desktop |

◆ 環境設定の選択

CF-4500 の設定を確認しつつ、下図のコントロールから同じ設定に合わせてください。



| RS-232C Setting | |
|-----------------|--------|
| BPS | 9600 ▼ |
| Character Bit | 8 ▼ |
| Parity Check | None ▼ |
| Stop Bit | 1 ▼ |
| Flow Control | None ▼ |
| Terminator | CR ▼ |

◆ 環境設定移行ファイルのエクスポート

フォーム下部の Export ボタンより環境設定の移行ファイルをエクスポートします。
「CF4700Environment.xml」
というファイルが作成されます。



[Export to Select Folder](#)

フォルダ選択ダイアログよりフォルダを選択し、エクスポートします。

[Export to Desktop](#)

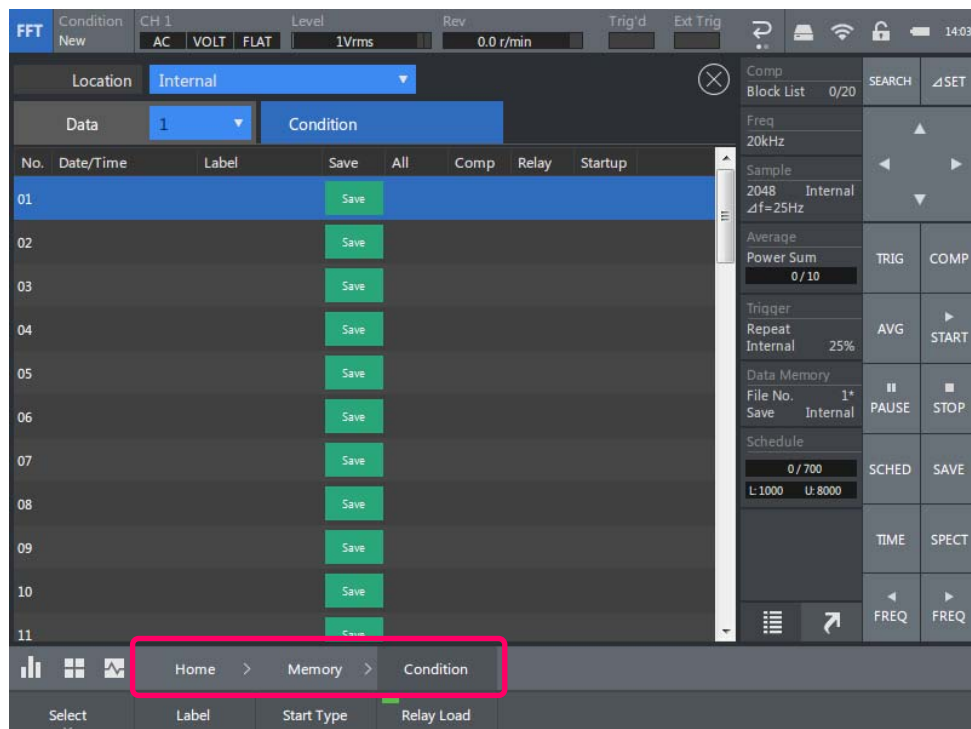
デスクトップへエクスポートします。

◆ CF-4700 への環境設定移行ファイルの展開方法

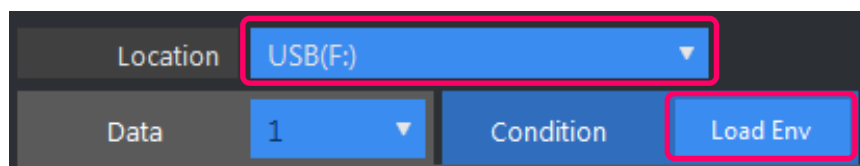
CF-4700 へ環境設定を展開するためには、USB メモリもしくは SD カード直下に作成した「CF4700Environment.xml」を配置してください。そしてその USB メモリもしくは SD カードを CF-4700 の本体正面下部の指定のポートに接続してください。



CF-4700 のセッティングキーを操作し、コンディションメモリ画面を開きます。



Location を「CF4700Environment.xml」を配置した USB メモリもしくは SD カードに切り替えると、「Load Env」ボタンが表示されます。「Load Env」ボタンを押下することで環境設定が CF-4700 に反映されます。



3. 特記事項

3.1. 設定が変更される変換項目および無視される項目

CF-4500 と CF-4700 の仕様の違いにより一部そのまま設定を変換できない項目があります。以下がその一覧です。

尚、CF-4700 へはグラフの色の設定およびグリッド表示は表示の都合から反映しない仕様となっております。予めご了承ください。

| 設定名 | CF-4500 設定 | CF-4700 設定 |
|---|---|---|
| Octave Bar Graph | On/Off | - |
| Display Select Fix | On/Off | - |
| List Num | Value (1 - 40) | 10, 20, 30, 40 ※ Value より大きい最寄りの値に 合わせます |
| Tracking Time Interval | Value (0.1 - 128) | 0.1, 0.2, 0.5, 1, 2, 5, 10, 20, 30, 60 ※ Value より小さい最寄りの値に 合わせます |
| Tracking Max Block Num | 200, 400, 600, 800, 1000 | - |
| Display Message Before Clear Tracking Data | On/Off | - |
| Order List | On/Off | On 固定 |
| dB Cal | Value(-50 - +50) | -50, -40, -30, -20, -10, 0, 10, 20, 30, 40, 50 ※ Value より大きい最寄りの値に 合わせます |
| Amp Level | 10mVrms, 31.6mVrms, 100mVrms, 0.316Vrms, 1Vrms, 3.16Vrms, 10Vrms, 31.6Vrms | 1Vrms, 31.6Vrms ※ 設定値より大きい最寄りの値 に合わせます |

CF-4700 の定時間スケジュールの総時間（CF-4500 該当設定なし）は、CF-4500 の定時間スケジュールのインターバルと最大ブロック数の積から算出します。

3.2. 変換ができない環境設定項目

環境設定項目は CF-4500 のコンディションファイルにはいないため、Environment

モードで移行可能な RS-232C の設定以外移行することができません。
以下が RS-232C を除く環境設定項目の一覧です。

| 分類 | 設定名 |
|--|-------------------|
| Condition | Fan On |
| | Shortcut |
| | Time Set |
| | Message Log |
| Condition > LAN Setting | IP Address |
| | Subnet Mask |
| Output > Beep | On/Off |
| | Average Done |
| | Average Done Type |
| | Trig'd |
| | Trig'd Type |
| | A/D Over |
| | A/D Over Type |
| | Compare End |
| | Compare End Type |
| | Compare NG |
| | Compare NG Type |
| Output > Phone | Volume |
| Memory | Auto Store |
| Memory > Data | Protect |
| Memory > Data > List | Set Active No |
| Memory > Data > Save Type | Text |
| | BMP |
| Memory > Panel Cond. | Set Active No |
| | Start Type |
| | Start Entry No |
| | Relay Load |